

結果と分析 全国学力・学習状況調査

国教育研究所
☎70・5659

小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査結果が、文部科学省から発表されました。市教育委員会では、この結果を基に、本市の状況について分析を行いました。

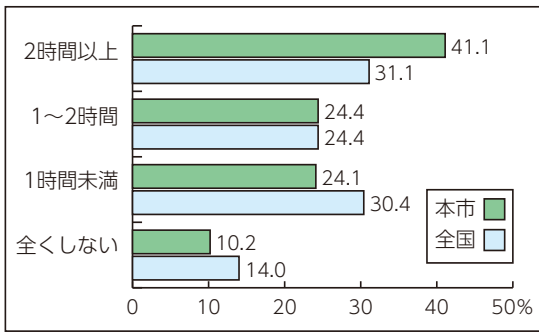
教科に関する調査では、各学校での校内研究や授業改善の取り組みによって、小学校は国語の知識に関する

問題、中学校は数学の活用に関する問題について、成果が表れてきました。しかしながら、漢字を正しく書くことなど、小・中学校ともに課題となっているものもありました。児童・生徒質問紙調査では、多くの児童・生徒が「将来の夢や目標を持っていない」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった

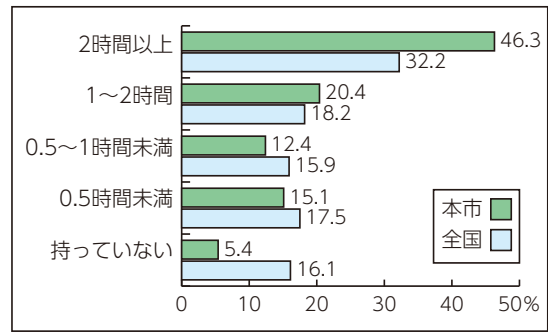
ことがある」「いじめはどんな理由があってもいけない」と思っている」と回答するといった肯定的な結果が得られました。課題は、ゲーム・携帯電話の利用時間が長いことや家庭学習の時間が短いことなどです(左表参照)。

学力の向上・学習状況の改善に向けて、家庭での時間の使い方の見直しをお願いいたします。全国学力・学習状況調査の分析結果は、市ホームページに掲載しています。

平日のゲームの利用時間(小学生)



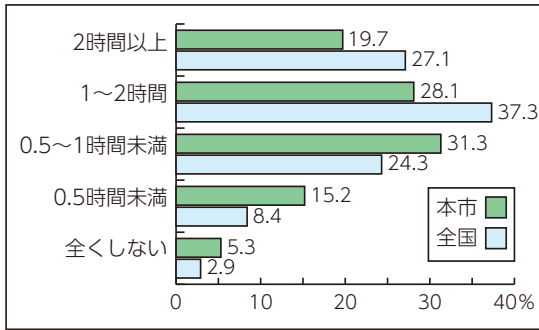
平日の携帯電話・スマートフォンの利用時間(中学生)



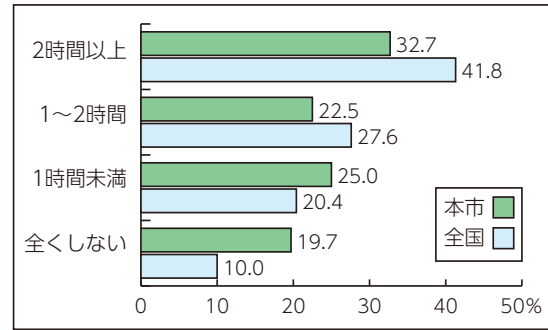
課題：ゲームや携帯電話・スマートフォンの利用時間、テレビやDVDなどの視聴時間の見直し

*ゲームや携帯電話・スマートフォンの利用時間、テレビやDVDなどの視聴時間が少ない方が、教科の平均正答率が高いという結果が見られます。本市の児童・生徒は、平日2時間以上の視聴・利用時間が、依然として全国を上回っています。学習や健康に悪影響を及ぼさない適切な利用について、確認や見直しをお願いします。

平日の家庭学習時間(小学生)



土日(休日)の家庭学習時間(中学生)



課題：家庭学習への取り組み

*中学生は、平日の家庭学習時間については全国と同程度で良好でした。しかしながら、平日1時間以上の家庭学習をする小学生、土日(休日)1時間以上の家庭学習をする中学生は、ともに全国を下回っています。家庭での時間の使い方を見直し、自分で学習の計画を立て、授業の復習を行うよう、温かい言葉掛けや励まし、見守りをお願いします。

- S Support (サポート)** 子どもの育ちを支援するため、思いやりのある関わりを深めます。
- M Magnet (マグネット)** みんなの笑顔のために地域がつながり、行動の輪を広げます。
- I Interest (インタレスト)** 子どもの育ちに関心を持ち、子どもたちと共に学びます。
- L Life (ライフ)** 一人一人の絆を深め、互いの命を守り、育みます。
- E Enjoy (エンジョイ)** 子どもの活動を支えながら、大人も楽しんで取り組みます。

いじめや暴力行為を防ごう かながわ子どもスマイルウェーブ

国教育指導課 ☎70・5660

「かながわ子どもスマイルウェーブ」は、子どもたちのいじめや暴力行為を未然に防ぐため、地域の大人たちが一体となって子どもの育成を支援する県の運動です。

毎年、各市区で地域フォーラムを開催しており、今年度の県央地区同フォーラムは、寺尾小学校を会場に行いました。高校生による司会進行の下、学校の取り組みや地域活動が発表されたほか、標語コンクールが行われました。こうした機会を通じて、子どもたちのいじめや暴力行為などを身近で起きている問題として捉え、地域社会の大人たちが一丸となって問題解決に取り組むことが大切です。



標語コンクール
綾北中学生徒会作品が当選

同フォーラムで行った標語コンクールでは、小・中学校、高等学校の児童・生徒から応募のあった作品683点の中から、事前審査で5点を選び、参加者による投票を行いました。その結果、綾北中学校生徒会の「おもいやり みんなでつくる 綾瀬の輪」が選ばれました。

学習指導要領の改訂 外国語が正式な教科に

国教育指導課 ☎70・5660

小・中学校の教育内容の基準を示した国の学習指導要領が改訂され、小学校では32年度、中学校では33年度から新学習指導要領に基づく指導が始まります。

具体的には、①小学5・6年生の外国語が正式な教科になる②小学3年生から「外国語活動」が始まる③小学校でプログラミング教育が必修になる④主体的・対話的で深い学びとなる授業を目指す一などが主な改訂内容です。「道徳」については、小学校では30年度、中学校では31年度から「特別の教科 道徳」となります。

市教育委員会では、教員の研修会を開催したり、大学教授などを講師に招いた校内研究会を行ったり、新学習指導要領の理念を踏まえた授業づくりに取り組み、綾瀬の子どもたちの確かな学力の育成に努めています。



子どものいじめ防止
啓発物品やチェックリスト

同フォーラムで市いじめ防止対策委員会が、いじめを防止する啓発メッセージと相談窓口を載せたクリアファイルを配布し、いじめ防止を呼び掛けました。いじめの大人が子どもたちの小さな変化を見落とさず、心の叫びに耳を傾けることが重要です。

いじめ防止のためのチェックリスト チェックが1つでもあればいじめのサインかもしれません

- 学校のできごとや友達のことを言わなくなった。
- 友達や学級への不平・不満を言うようになった。
- 学校を休みがちになる。遅刻・早退が多くなった。
- 勉強に意欲がなくなったり、表情が暗くなった。
- 家族に反抗したり、八つ当たりするようになった。
- 体の不調を訴えたり、部屋に閉じこもるようになった。
- 理由なく服に汚れが目立ち、手足に傷跡が多くなった。
- 食欲がなくなったり、睡眠不足のように見える。
- 持ち物をなくしたり、壊れたりすることが多くなった。
- 必要以上の金品や持ち物を要求するようになった。
- 友達との交流が減った。見知らぬ友達が尋ねてくるようになった。
- 不審な電話やメールが多くなった。
- 携帯やスマートフォンを家族の前で見なくなった。
- 部活動をやめたいと言い始めた。
- 家庭での会話が減った。